

2020年度 学校経営計画及び学校評価【城星学園幼稚園】

1 めざす幼稚園像

城星学園は、カトリックの精神に基づき、創立者聖ヨハネ・ボスコ（ドン・ボスコ）の教育理念である『道理』と『信仰』と『愛』に根ざした教育法によって、園児、児童、生徒の全人間教育に励み、神を敬い、人を愛し、自然を大切にする『良心的な人間、よき社会人』を育成することを使命としています。

「教育は心の問題であり、青少年を愛するだけでは足りません。
青少年が愛されていると感じられるように彼らと共に生きる」

2 中期方針・中期行動計画

- 1 ドン・ボスコの精神によるカトリック学校を維持する
 - (A)キリストの教えと、創立者ドン・ボスコとマリア・マザレの生き方を学ぶための研修の場を設定する
 - (B)アシステンツァの理解を深め、マリア様、イエス様の心に倣い実践する
- 2 「園児・児童・生徒の安全」管理を徹底する
 - (A)安全教育を実践する
 - (B)安全・安心の為の教育環境整備を行う
- 3 『良心的な人間、よき社会人』を育成する教職員』を育成する
 - (A)教職員の資質向上を目指した研修を実施する
 - (B)園児に関する情報の共有を図る
- 4 校種間、兄妹校間の連携を強化する
 - (A)他校種の児童・生徒との交流の機会を広く設ける
- 5 自然に挨拶が交わせる学園にする
 - (A)教職員間で挨拶を励行する
 - (B)園児に対し、挨拶の大切さ等の指導を継続し、励行を促進する
 - (C)より良い教育共同体作りに努める

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

7. 自己評価アンケート結果と分析	8. 学校関係者評価委員会からの意見
<p><評価が相対的に高かった項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ○行事が楽しい ○施設設備の清掃が行き届いている ○個人情報適切に取り扱っている ○教職員は気持ち良い挨拶を行っている ○幼稚園の教育目標・方針に共感できる ○教職員との信頼関係が築けている ○保育環境や施設設備が充実している ○緊急時に情報を適切に伝えている (すべて満足度95%以上) <p><評価が相対的に低かった項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもの応用力が養われている ○自ら判断し行動する力が培われている ○自然や物を大切に扱う行動が見られる ○小学校と連携した活動を行っている 	<p>学校法人城星学園学校関係者評価委員会は理事会・後援会(保護者)・各学校種管理職・評議員(学識経験者)により構成されている。2020年度学校評価に関する検討は2021年3月10日(水)に行われた。</p> <p><意見まとめ></p> <p>○読み書きなどの勉強を多く取り入れる幼稚園もあるが、集団生活を通じ人との関わりの中で大切なことを学ばせたいと考えている保護者が多く、本園のカラーと整合する良いアンケート結果である。</p> <p>○先生方の努力もあって幼稚園の運営方針に賛同される保護者が多くなっており、学園のブランディングにとって極めて有利な状況である。「情操教育・カトリック」を全面に打ち出して、世間に広く知れ渡る努力を維持して頂きたい。</p> <p>○回収率については、昨年年少だった保護者が年中になった時にどう変化したかという点での分析も必要である。</p> <p>○「幼稚園を選ぶ点で重視した点」と「満足度の高い項目」が一致している点が素晴らしい。</p> <p>○コロナ禍の中、もっとも指導が大変と思われる幼少期の子供たちをお預りする幼稚園と保護者の信頼関係が築かれており素晴らしい。</p>

	<p>○「子どもは、毎日幼稚園に行くのを楽しみにしている」というアンケート項目について、年中生の満足度最上位となっているのは素晴らしい。年少生は不自由な生活からのスタートであり、今後の上昇に期待したい。</p> <p>○満足度が上位10項目において95%以上と非常に高く、満足度が低い項目に関しても1項目を除き73%以上という高い数値になっており、本園の幼児教育の素晴らしさが顕著に現れている。小学校との連携については、例えば公立小学校へ進学した際に、本学園とのギャップを子ども達が感じ、戸惑う可能性も懸念されるため評価が難しいところである。</p> <p>○小学校との連携に関する満足度が低くなっているのは、保護者が参加する行事等で幼・小の日程がかぶらないような配慮を期待しているからではないか。</p>
--	---

3 本年度の取組内容及び自己評価

※満足度は学校評価アンケートで「5:とても満足」「4:まあ満足」の回答割合を示している。

中期的目標	中期行動計画	2020年度行動目標	ねらい	関連する学校評価アンケート項目及び満足度(丸数字は設問番号)	年度評価 ○(順調)/△(課題あり)/×(不能)
1 ドン・ボスコの精神 持にする によるカトリック 学校を維	(A)キリストの教えと、創立者ドン・ボスコとマリア・マサレロの生き方を学ぶための研修の場を設定する	カトリックの精神に基づいた教育活動を日々実践するとともに拡充していく	カトリック・ミッションスクール の教員としての意識改革がなされ、いかに行動に変化が見られたか	⑤幼稚園は、教育方針に沿った教育を行っている。 →満足度93.2%	○:創立者の建学の精神及び予防教育法の研修を重ねることで、教職員の意識改革につながった。
	(B)アシステンツァの理解を深め、マリア様、イエス様の心に倣い実践する	「子どもたち自身が愛されている」と実感できるまでの深い愛と見守りをもって、キリストに倣う者となる	保護者との信頼関係を如何に構築し、理解と協力を得られたか	①幼稚園は、保護者に対してキリスト教主義に基づく教育方針の説明をわかりやすく行っている。 →満足度90.5%	○:入園前の説明会等で、保護者にしっかりと発信し、理解と共感を得ることができた。
	(C)ドン・ボスコ及びマリア・マサレロの教育理念である予防教育法の一層の充実を図る	創立者の建学の精神の研究をさらに深め、日々の教育活動の実践に活かす	日常の教育活動を実践する上で、成果として顕われたか	⑧教員の心配りが行き届いている。 →満足度91.2%	△:研修成果の中での多くの気づきを日々の実践に生かせるよう、さらなるスキルアップを図る必要がある。
2 「園児・児童・生徒の安全」 管理を徹底する	(A)安全教育を実践する	防災・減災・防犯の為の研修や訓練を実施するとともに、さらに拡充させる	子どもたちの意識と行動の変化がどのように顕われたか	②幼稚園は、子ども達に安全教育を行っている。 →満足度93.9%	○:コロナ禍においても、実地・座学を含め、多くの安全教育を実施した。
	(B)安全・安心の為の教育環境整備を行う	教育環境全般にわたり、定期点検を実施し、危険回避を図る	危険箇所の発見・改善に万全を尽くすべく鋭敏に反応できたか	⑨幼稚園の施設・設備は、安全管理が行き届いている。 →満足度93.9%	○:常に危険要因の発見と改善に努め、教職員の意識改革も同時に進展が見られた。

中期的目標	中期行動計画	2020年度行動目標	ねらい	関連する学校評価アンケート項目及び満足度(丸数字は設問番号)	年度評価 ○(順調)/△(課題あり)/×(不能)
人 3 『良心的な人間、よき社会を育成する教職員』を育成する	(A)教職員の資質向上を目指した研修を実施する	教育者としてのスキルアップと良き社会人としての範を示す為の意識向上を図る	円滑な人間関係に基づく協働意識のもと、組織運営の活性化につながったか	②⑥教職員は、協力し合って保育を行っている。 →満足度92.6%	△:学年毎の園内研修、新任研修等を綿密に企画し実践してきたが、個々の力量にまだまだ差があり、今後のフォローアップが不可欠である。
	(B)園児に関する情報の共有を図る	園児一人一人の健全な成長に根差した情報交換を綿密に行う	全教職員が情報を共有し、組織としての対応ができたか	②⑧教員の心配りが行き届いている。 →満足度91.2%	○:園児に関する些細な情報も常に共有しながら、保育活動に支障が生じないよう努めた。
校 4 校間の連携を強化する	(A)他校種の児童・生徒との交流の機会を広く設ける	従前の交流の方法や時期にとらわれず、一層の拡大と充実を図る	園児・児童・生徒間にとどまらず、教職員同士、さらには保護者間の交流ができたか	④①幼稚園は、小学校と連携した活動を行っている。 →満足度51.7%	△:今年度は新型コロナウイルス感染症対策の為、予定していた交流の場を設けることができなかった。進学希望先としての選択につながるよう、さらに連携を図る必要がある。
5 自然に挨拶が交わされる学園にする	(A)教職員間で挨拶を励行する	円滑な職場環境の構築とモラルやコンプライアンスの向上に向けた指導や研修を実施する	各自が積極的に気持ちのこもった挨拶をし、職場環境作りに貢献できたか	②⑦教職員は、気持ちの良い挨拶を行っている。 →満足度97.3%	○:円滑なコミュニケーションを構築すべく、常に笑顔と心配りを絶やすことのないよう努めた。
	(B)園児に対し、挨拶の大切さ等の指導を継続し、励行を促進する	園児一人一人に目配り、心配りを怠らせず、良き社会人としての基本的な生活習慣の定着を図る	良き社会人としての範を示し、教えることができたか	②②幼稚園は、子どもに基本的な生活習慣が身に付くような生活指導を行っている。 →満足度93.9%	○:ドン・ボスコの予防教育法を念頭に、常に根気強く丁寧に子どもたちを導いている。
	(C)より良い教育共同体作りに努める	教職員間、保護者間の強固な信頼関係の構築に向け、様々な機会を通して意思疎通を図る	「親の集い」や各集会等において、内容を精査し、目的を達成し得たか	③⑧幼稚園には、子どもに関する相談が気軽にできる。 →満足度85.1%	△:今年度、当初予定していた親の集いやひまわりの会の講演会等、保護者に向けた情報発信の機会が減少し、意思疎通に少なからず影響があった。